セキュリティ特集に寄せて

執行役員常務

松本瑞午

ICTの利活用は，日々の企業活動や生活を支え，社会課題の解決に貢献し，新たな変革をもたらすまでに進展しています。一方で，政府や企業をターゲットとしたサイバー攻撃は複雑で巧妙化し，情報を守るための戦いは激化しています。IoT時代の本格的な到来や，2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催などにより，様々な人・モノがつながり，これまで以上にセキュリティの確保が大きな課題となってきています。

富士通は，お客様にICTを提供するとともに，その安全を守る義務があります。世の中の変化に対応し常に最適なICTとセキュリティを一体として提供し続け，お客様からの信頼を維持することが富士通の使命だと考えています。

金融には与信という言葉があります。取引相手にどれだけの経済的な信用を与えるか，つまりどれだけ相手を信頼できるかということです。ICTプラットフォーム上にあるサービスが強固なセキュリティに支えられていることで，プラットフォームを活用するお客様は安心して事業を展開することが可能となります。富士通は，セキュリティによって「信頼が与えられる」ICTプラットフォームを提供してまいります。

同時に，富士通がサイバー攻撃などをはじめとするセキュリティの脅威に対してどこまで対応できるかをお客様に示すことで，お客様自身にリスクを正しく認識していただき，仮にリスクが表面化したときには素早く的確に対処して，お客様，ひいては社会の被害を極小化することが富士通の役割だと考えています。

2014年1月，富士通は，お客様・社会のICTの安心・安全を支えるセキュリティに関する製品・サービス群を「FUJITSU Security Initiative」として新たに体系化しました。そして「セキュリティイニシアティブセンター」を設置し，お客様のセキュリティ環境の課題抽出，対策検討，システム構築，運用といったライフサイクルに対し，巧妙化するサイバー攻撃などの脅威から，常に安全なICT環境を保てるよう支援しています。

富士通のセキュリティ分野の最大の強みは，世界に誇れる技術，人材，社内実践の三つを併せ持つことです。本特集号では，安全なICT環境を構築するための最新技術，幅広い人材の育成，そして社内実践から培った運用ノウハウで全世界のお客様に安心・安全を提供する富士通の取組みをご紹介いたします。

富士通は今後も「FUJITSU Security Initiative」に基づき，セキュリティ製品・サービスをトータルに提供し，お客様と社会の安心・安全に貢献してまいります。